

住まいの研究会 1993年4月～2003年3月

平成5年度(1993年)登録人数24名 担当者:鈴木洋子、垂水百合子、正木恵子、芝崎康子
 年間メインテーマ「環境共生住宅」
 サブテーマ:①エネルギー問題②ゴミ問題③暮らし方と緑④材料問題
 テキスト「環境共生住宅宣言」 監修 建設省住宅局住宅生産課

- 第1回 5月22日(土) 兵庫建設会館 16名
 ・「環境共生住宅宣言」から何を学ぶか? 4つのサブテーマでグループ分け
- 第2回 6月19日(土) 見学会 11名
 「関西電力オール電化ハウス」
 ”エネルギー問題”グループの担当で関西電力の提案住宅を見学
- 第3回 7月17日(土) 中央労働センター 29名
 ”暮らし方と緑”グループ担当で2人の講師を招く
 「緑と人間環境について」 人見章子氏(株)ケンデザイン研究所
 「人工地盤上の植栽計画(土壌について)」久保浩一氏(株)クレアテラネットワーク
- *9月初旬 住まいの研究会で会員対象にアンケート実施
 ・テキスト「環境共生住宅宣言」を読んで疑問に思ったことなど
 ・4つのサブテーマのそれぞれの分野で知りたいこと
- 第4回 9月18日(土) 県民会館 13名
 ・アンケート結果にもとづく「環境共生住宅宣言」の内容の疑問点について意見交換
- 第5回 10月16日(土) 兵庫建設会館 15名
 ”材料問題+ゴミ問題”グループ担当
 ・建設系廃棄物処理と再利用・リサイクルガイド・新素材開発と建設
 ・現代住宅の問題点
- 第6回 11月20日(土) 兵庫建設会館 12名
 “ゴミ問題”グループ担当
 ・建設副産物の処理対策 ・建材のリサイクルとその展望
- 第7回 12月12日(日) 見学会 16名
 ”暮らし方と緑”担当で環境に配慮した住宅を見学
 「ユーコート」 コーポラティブ住宅の居住者に話を聞く
 「桂坂の家」 ニュータウン内の豊かな外構の低層住宅
- 第8回 平成6年1月22日(土) 18名
 ”エネルギー問題”担当者発表
 ・新省エネルギー基準の住宅
 ・太陽光発電システムと事例
 ・コージェネレーション
 ・最近の床暖房
 ・人工衛生中継による太陽光利用計画
- 第9回 3月4日(土) 見学会 10名
 ・大阪ガスの未来型実験集合住宅「NEXT21」
- 第10回 3月26日(土) テッケンビル会議室 7名
 ・「NEXT21」見学会の報告と意見交換
 ・平成5年度のまとめと次年度の進め方

平成6年度(1994年)登録人数26名 担当者:鈴木洋子、垂水百合子、正木恵子、芝崎康子
 年間テーマ「環境共生住宅 part 2」

- 第1回 5月14日(土) テッケンビル 5階 会議室 17名
 ・女性部会員へのアンケートづくり
 環境共生住宅を考えるにあたり、女性部会員の<安全><健康><快適>などへの価値観を探る
 *6月 アンケート実施「あなたの考える快適性とは?」
- 第2回 6月18日(土) テッケンビル 5階 会議室 16名
 ・アンケートの集計後、調査結果から課題を探るには?
 「エネルギー」「暮らし方と緑」「ゴミ・廃棄物」の3つのグループに分かれ課題を探ることに決定
- 第3回 7月16日(土) テッケンビル 5階 会議室 16名
 ・アンケート集計作業(回収率58%) 3つのグループで手分けしてまとめる
- 第4回 9月17日(土) テッケンビル 5階 会議室 12名
 ・アンケートの集計結果 3つのグループが各々発表
 ・“暮らし方と緑”担当 緑の手法を採り入れた事例を皆で持ち寄り、フリートーク
- 第5回 10月29日(土) 兵庫県民会館 14名
 ・講演会 「住まいの薬剤処理と安全性」 講師:植村振作氏(大阪大学理学部)
 白蟻駆除剤や建材・生活用品に使われる化学物質による健康への被害
- 第6回 11月19日(土) テッケンビル 5階 会議室 14名
 ・“エネルギー問題”担当 「中水道 一雨水利用について」
 雨水利用の役割・手法、自治体の取り組み、住宅での事例、ドイツの事例
- 第7回 12月17日(土) 建設会館 10名
 ・“材料ゴミ問題”担当 「長持ちできる家づくりを考える」
 住宅の耐久性、建築のライフサイクル設計、こわしにくい建築・こわれにくい建築、
 住宅を社会的ストックにするために

(震災のため、1月21日に予定していた講演会は中止、年度末まで活動休止)

平成7年度(1995年)登録人数35名 担当者:鈴木洋子、垂水百合子、芝崎康子、西松佐由理
 年間テーマ「環境共生住宅 part 3」

- *前年度末、震災のため休止となった講演会は、女性部会定例会開催と同時に行った
 5月13日(土) 21名
 講演会 「エコロジー建築について」-「神戸市エコロジー建築マニュアル」と海外の事例-
 講師:中嶋知之氏(神戸市住宅局営繕課技術管理係長)
 神戸市のめざすエコロジー建築のコンセプトの説明と事例紹介、スライドによる海外の事例紹介
- 第1回 6月17日(土) テッケンビル 5階 会議室 17名
 ・環境共生住宅のマニュアルづくりに向けて、フリートーク
- 第2回 7月22日(土) テッケンビル 5階 会議室 17名
 ・講演会 「環境共生している造園計画の手法と事例」 講師:林まゆみ氏(ランドスケーププランナー)
 事例に見られる生態系を生かした造園計画、震災時の活動を通して見えてきたこと等
- 第3回 8月26日(土) 14名
 ・見学会 大阪ガス展示館「DIRIPA」
 ・見学後、今後の進め方検討、「健康」と「防災」の視点から環境共生住宅を探る、2つのグループ分

け

- 第4回 9月9日(土) テッケンビル 5階 会議室 10名
 ・“健康な住まい”を探るー材料の面からー 各担当者発表
 壁紙、塗料、防腐剤、床下調湿材、自然素材、施工、事例など
- 第5回 10月14日(土) 13名
 ・防災の視点から環境共生住宅を探るー1
 見学会 「北野異人館の震災修復現場」 講師：有村桂子氏(いるか設計集団)
 寺西邸、山本・片桐邸、シュウエケ邸他
- 第6回 11月18日(土) コープこうべシアター5階 シアホール 19名
 ・講演会 「健康な住宅について その材料と施工法」 講師：高橋 元氏(ひと・環境計画代表)
 建築に使われている有害物質、その原因と対策、環境に負荷をかけない建材など
- 第7回 12月16日(土) テッケンビル 5階 会議室 14名
 ・防災の視点から環境共生住宅を探るー2 各担当者発表
 木造建築物の復旧技術、木構造の耐震設計、雨水利用、緑化、自然と共生するまちづくり
- 第8回 1月13日(土) テッケンビル 5階 会議室 14名
 ・環境共生住宅 part3 まとめ①
 「材料・ごみ問題」「エネルギー問題」「暮らし方と緑」「健康」「防災」のテーマ別に1991年～1995年
 に実施した研究会の内容項目を分類、担当者のリストアップと原稿の分担
- 第9回 2月17日(土) テッケンビル 5階 会議室 12名
 ・環境共生住宅 part3 まとめ②
 集まった分担原稿を中心にテーマごとの内容検討、ボリューム調整、
- 第10回 3月16日(土) テッケンビル 5階 会議室 11名
 ・環境共生住宅 part3 まとめ③
 テーマの分類は「材料・ごみ問題」「エネルギー問題」「暮らし方と緑」「健康住宅」「環境共生の事例」
 の5つとする。テーマごとの再検討、原稿の修正、全体調整

*1996年6月 「環境と共生する住宅」ー住まいの研究会記録ー 発行(A4版 53ページ)

平成8年度(1996年)登録人数32名 担当者：鈴木洋子、芝崎康子、垂水百合子、木本和子、西松佐由理
 年間テーマ「環境共生住宅 ケーススタディⅠ」

- 第1回 5月18日(土) テッケンビル 5階 会議室15名
 ・環境共生住宅のケーススタディ 実践に向けての課題についてフリートーク
 ・ケーススタディ用の敷地の提供者を募る
- 第2回 6月 8日(土) 見学会 27名 (高齢社会の研究会共催)
 ・「長く住み続けられる手法」 森本康代邸(アトリエ・ステンドグラス主宰)
 環境共生しているよい事例として古民家を移築した住まいと暮らし方
- 第3回 7月13日(土) 兵庫県中央労働センター 5階 501号室 11名
 ・環境共生住宅のケーススタディ①
 会員のKさん宅の敷地でケーススタディすることになり、敷地、家族構成、暮らし方等の
 設計条件を提示、各自平面プランを8月末までに提案する
- 第4回 9月21日(土) テッケンビル 5階 会議室 14名
 ・環境共生住宅のケーススタディ②
 7人から8案の平面プラン集まる。各プランについてテーマの検討
- 第5回 10月12日(土) テッケンビル 5階 会議室 16名

- ・環境共生住宅のケーススタディ③ 8案のプランを整理して6案にする
- ・太陽電池、ガステック(ホルムアルデヒド測定器)の情報提供

- 第6回 11月9日(土) テッケンビル 5階 会議室 12名
 ・環境共生住宅のケーススタディ④
 6つのプランを材料、エネルギー、緑のテーマで課題の検討
 <材料> 国産材の使用、古材の利用、雨水利用
 <エネルギー> 太陽光発電、床暖房、0Mソーラー
 <緑> 屋上緑化、地域景観への配慮、生け垣
 ・担当グループ 生け垣助成、産直材 発表
- 第7回 12月7日(土) 講習会 (健康住宅研究会共催) 兵庫県私学会館 会議室 36名
 「安心して住み続けられる家づくり」 講師：佐藤 清氏(テクノプラン建築研究所)
- 第8回 1月18日(土) テッケンビル 5階 会議室 20名
 ・環境共生住宅のケーススタディ⑤ グループスタディ
 ・担当グループ 太陽光発電、緑化コンクリート 発表
- 第9回 2月15日(土) 造園会社「グリーンスター(株)」施設 3階集会室 23名
 ・グリーンスターの施設見学と講習及びコープリビング甲南見学
 講習「戸建住宅の花と緑の景観づくり」 講師 中島 末二(中島造園社長)
- 第10回 3月15日(土) テッケンビル 5階 会議室14名
 ・環境共生住宅のケーススタディ⑥ グループスタディ

*「健康住宅研究会」発足。兵庫県建築士会建築文化振興基金の助成を受け、住まいの研究会を母体に
 建築士だけでなく一般の人も含めた会とする

平成9年度(1997年)登録人数39名 担当者：芝崎康子、浅野悦子、栗林郁子、平内節子、西松佐由理
 年間テーマ「環境共生住宅 ケーススタディⅡ」

- 第1回 5月17日(土) 神戸市教育会館 203号室 18名
 環境共生住宅 ケーススタディをすすめるにあたって
 ・実践に役立つマニュアルづくりをめざし、今年は各テーマごとに資料収集・調査・情報整理をして
 グループスタディをまとめる
 ・大きく3つのグループに分かれる。「材料」「エネルギー」「緑」
- 第2回 6月14日(土) テッケンビル 5階 会議室 19名
 ・ケーススタディのプランの見直し
 6案のプランの中から1案にしぼり、各グループ共通の基本プランとする。
 プランは各々のテーマに沿って検討し、まとめる
- 第3回 7月19日(土) テッケンビル 5階 会議室 21名
 ・講習会 「古材の再利用」 講師 木下龍一氏(アトリエ RYO)
 民家再生へのプロセス・プランニング、実施例、再生から受け継ぐ伝統技術
- 第4回 9月20日(土) テッケンビル 5階 会議室 13名
 ・グループスタディ テーマの検討、役割担当の確認
- 第5回 10月25日(土) テッケンビル 5階 会議室12名
 ・グループスタディ 調査内容の分担
- 第6回 11月22日(土) テッケンビル 5階 会議室 15名
 ・グループスタディ ①木組みの方法 ②ハーブ屋上緑化 ③未利用エネルギー
- 第7回 12月13日(土) テッケンビル 5階 会議室15名

- ・グループスタディ ①外壁材料の検討 ②屋上庭園の施工法 ③雨水利用の方法
- 第8回 1月24日(土) 神戸産業振興センター 8階 802号室 22名
 - ・ドイツ視察研修会の報告 「環境共生住宅の現状」 講師：木本和子氏、野崎瑠美氏(会員)
- 第9回 2月21日(土) テッケンビル 5階 会議室 20名
 - 講演会 「自立する建築—まあぶる・おおみち」 講師 林 英雄氏(林英雄建築設計室)
 - 2月27日(金) 「まあぶる・おおみち」 見学会 11名
- 第10回 3月14日(土) テッケンビル 5階 会議室 16名
 - ・ケーススタディ グループ進捗状況とスタディのまとめ方

平成10年度(1998年)登録人数31名 担当者：芝崎康子、浅野悦子、栗林郁子、澤木久美子、平内節子、西松佐由理
年間テーマ「環境共生住宅 ケーススタディのまとめ」<冊子作成>

- 第1回 5月16日(土) テッケンビル 5階 会議室 23名
 - ・グループワーク 材料・エネルギー・緑の各グループごとに資料を整理しまとめに入る方針
- 第2回 6月20日(土) テッケンビル 5階 会議室 18名
 - ・グループワーク グループに分かれて検討、資料整理完了
- 第3回 7月18日(土) テッケンビル 5階 会議室 15名
 - ・グループワーク 冊子 ページ立て
- 第4回 8月29日(土) テッケンビル 5階 会議室 18名
 - ・グループワーク まとめ作業
 - * 「環境と健康に配慮した材料」に関する会員へのアンケート実施
- 第5回 9月19日(土) テッケンビル 5階 会議室 18名
 - ・グループワーク ページ設定、レイアウト
- 第6回 10月17日(土) テッケンビル 5階 会議室 14名
 - ・グループワーク レイアウトのチェック
- 第7回 11月21日(土) テッケンビル 5階 会議室 14名
 - ・グループワーク ストーリーのチェック
- 第8回 12月12日(土) テッケンビル 5階 会議室 11名
 - ・グループでのチェック完了
- 第9回 1月23日(土) テッケンビル 5階 会議室 15名
 - ・意見の交換
- 第10回 2月20日(土) テッケンビル 5階 会議室 11名
 - ・反省と次年度の計画
- 第11回 3月13日(土) 神戸市東灘区 見学会 18名
 - ・前田由利氏自邸兼アトリエの見学
 - 草葺き屋根、土佐漆喰の壁の地下1階地上3階建て木造住宅

- * 「環境と共生する住宅・II —ケーススタディを通して—」 発行
- * 「健康住宅研究会」は「健康な住まいを考える会」に名称変更

平成11年度(1999年)登録人数36名 担当者：平内節子、伊吹美香、栗林郁子、森垣実紀、山際洋子
年間テーマ 「安心して住み続けられる住まい」

- 第1回 5月15日(土) テッケンビル 5階 会議室 23名
 - ・学習会 住宅改造例の紹介 木本和子氏(会員)
- 第2回 6月19日(土) (株)シーエッチ建築工房 18名
 - ・見学会 「自然素材の住宅づくり」 浜畑有信氏(シーエッチ建築工房)
 - 産直材による現代風民家の事務所兼自宅
 - 「オーロラ自然素材システムキッチン」北村 隆氏(ケイズワークショップ)
 - 国産桧集成材の面材、自然塗料、システムモジュールのキッチン
- 第3回 7月24日(土) 神戸市教育会館 501階 22名 (健康な住まいを考える会共催)
 - ・講演会 「環境と共生する住まい方を語る」 講師 上野英二氏(オケレレッジ)
 - 自然と人間の調和を目指し、無垢の木を使った建築・家具・クラフト
- 第4回 9月11日(土) 私学会館 地下5号室 17名
 - ・「産業廃棄物のゆくえについて」
 - 担当者による兵庫県下6都市の産業廃棄物に対する取り組みの調査・発表
- 第5回 10月16日(土) 大栄環境(株) 鳴尾浜建設廃材リサイクルセンター 16名
 - ・見学会 「産業廃棄物トータル処理リサイクルシステム」
- 第6回 11月20日(土) 神戸市産業振興センター 601特別会議室 11名
 - ・講演会 「環境保全のための負荷の少ない事業について」 講師 日野鉄則氏(清水建設)
- 第7回 12月18日(土) 神戸市産業振興センター 601特別会議室 14名
 - ・今年度の活動についてフリートーク、情報交換
 - ・ビデオ鑑賞「フェルドクネッペン〜もう一つの住まい〜」
- 第8回 1月22日(土)
 - ・フリートーク 今年度を振り返って 東灘区民センター会議室 14名
 - ・見学会 「ココライフ魚崎」 38名(会員外含む) 設計者：野崎瑠美氏(会員)の説明
 - 1階にグループハウスと交流スペースをもち、2階以上がコレクティブハウスの新しい住まい方を提案した高齢者向け集合住宅
- 第9回 3月18日(土) テッケンビル 5階 会議室 10名
 - ・フリートーク 来年度に向けて

平成12年度(2000年)登録人数41名 担当者：平内節子、伊吹美香、栗林郁子、森垣実紀、山際洋子
年間テーマ 「安心して住み続けられる住まいII」

- 第1回 5月20日(土) テッケンビル 5階 会議室 12名
 - ・フリートーク 今年度の方針について
- 第2回 6月17日(土) 私学会館 2階205号室 14名
 - ・講演会「古民家再生を通して学ぶこと」 講師 佐藤定義氏(神戸市住宅局環境整備課)
- 第3回 7月15日(土) 神戸市北区、西区 17名
 - ・見学会 「再生古民家」 八多公民館、淵上家住宅、前田家住宅、太山寺龍像院
- 第4回 9月9日(土) 私学会館 地下5号室 22名
 - ・古民家学習まとめ「今井町づくりセンターについて」 山本泰史氏(いるか設計集団)
 - ・学習会 「住宅資金、不動産運用に対するライフプランニング」
 - 「高齢化に伴うバリアフリー改造に対する行政の助成について」
 - 「住居費についての研究事例」
- 第5回 10月21日(土) 神戸市すまいの安心支援センター セミナー室 14名
 - ・講演会 「今なぜ環境のことを考えるの？環境共生住宅について」 講師 鍵野洋子氏(会員)
 - (神戸市すまいの安心支援センター エコエコハウジングセミナー)

- 第6回 11月18日(土) 名塩和紙学習館・谷徳製紙所 15名
 ・「名塩和紙学習会」(健康な住まいを考える会主催)
- 第7回 12月9日(土) 姫路文学館(北館・南館・望景亭を見学) 14名
 ・フリートーク「住まいのメンテナンスブック作成に向けて」
- 第8回 1月20日(土) 神戸市すまいの安心支援センター セミナー室 17名
 ・学習会「住宅に対する資金計画」井上仁美氏(関西FP総合研究所)
- 第9回 2月24日(土) 神戸市すまいの安心支援センター セミナー室 9名+一般18名
 ・講演会「安心安全な素材を考える」講師 木本和子氏・垂水百合子氏・野崎瑠美氏(会員)
 (神戸市すまいの安心支援センター エコエコハウジングセミナー)
- 第10回 3月17日(土) テッケンビル 5階 会議室 7名
 ・フリートーク「次年度に向けて」

平成13年度(2001年)登録人数48名 担当者:伊吹美香、橋本育子、横山雪恵
 年間テーマ 「日本人の暮らしにあった住まいを探る」

- 第1回 5月19日(土) 京都府大山崎町 15名
 ・見学会 藤井厚二の実験住宅「聴竹居」
- 第2回 6月16日(土) 神戸市すまいの安心支援センター セミナー室 10名
 ・フリートーク「聴竹居」から学んだ住まい観、日本の気候・風土・文化にあった住宅
- 第3回 7月7日(土) テッケンビル 5階 会議室 8名
 ・学習会 壁について-真壁を見直そう
- 第4回 9月22日(土) 神戸市長田区 21名
 ・見学会 街なみ環境整備事業「野田北部地区のまちづくり」
 神戸市復興記念事業コンペ最優秀賞「やわらかな住まい」野崎瑠美氏設計
- 第5回 10月20日(土) 氷上郡柏原町
 ・フォレストツーリズム(健康な住まいを考える会・県立年輪の里主催)
 間伐実習・工場見学・木材供誌体の曲げ強度試験
- 第6回 11月11日(土) 神戸市東灘区 19名
 ・見学会 乾邸、白鶴美術館 昭和初期の日本建築見学・伝統建築文化を見直す
 (近畿女性建築士連絡協議会の見学会の一部に合流)
- 第7回 12月15日(土) 神戸市すまいの安心支援センター 会議室 11名
 ・学習会「全国大会宮城県の家再生 参加者の報告」
 「古材活用に関する事例をもとにした情報交換」
- 第8回 1月19日(土) 神戸市すまいの安心支援センター 会議室 14名
 ・学習会「家の一部(建具・照明など)を再利用した事例紹介」 情報交換
- 第9回 3月16日(土) 伊丹市 7名
 ・見学会「旧岡田家住宅・旧石橋家住宅」講師 中畔明日香氏(伊丹市教育委員会)
 ・フリートーク「次年度に向けて」

平成14年度 P6~P19参照

(社)兵庫県建築士会女性部会歴代役員名簿

年 度	H5~H6		H7~H8		H9~H10		H11~H12		H13~H14	
会 長	黒田 公三				西村 盛廣				大海 一雄	
担当副会長	北村喜八郎				寺谷 敏行				北村喜八郎	
部 会 長	野崎 瑠美	野崎 瑠美	正木 恵子	正木 恵子	平内 節子					
副 部 会 長	木本 和子 正木 恵子	木本 和子 正木 恵子	垂水百合子 鈴木 洋子	鈴木 洋子 平内 節子	伊吹 美香 鈴木 洋子					
運 営 委 員	岡部佐由理 鍵野 洋子 芝崎 康子 鈴木 洋子 武野 朋子 垂水百合子 内藤 玲子	浅野 悦子 鍵野 洋子 芝崎 康子 鈴木 洋子 武野 朋子 垂水百合子 西松佐由理	浅野 悦子 小澤 朋子 木本 和子 栗林 郁子 澤木久美子 芝崎 康子 野崎 瑠美 西松佐由理 平内 節子	伊吹 美香 川津 賀永 栗林 郁子 澤木久美子 芝崎 康子 野崎 瑠美 前田 由利 森垣 実紀 山際 洋子	大坪 夏代 尾瀬 くみ 栗林 郁子 上月 真弓 澤木久美子 橋本 育子 正木 恵子 森垣 実紀 横山 雪恵 吉川久似子					
相 談 役					鍵野 洋子 武野 朋子	鍵野 洋子 木本 和子 垂水百合子	野崎 瑠美 垂水百合子			
事 務 局	武田 百合		武田 百合		武田 百合		田村 雄子 山口 朋子	山口 朋子		
部 会 員 数	84	100	108	122	142	161	158	177	181	175

社団法人 兵庫県建築士会 女性部会規約

第1章 総則

(名称)

第1条 本部会は、社団法人兵庫県建築士会（以下「士会」という。）女性部会と称する。

(目的及び事業)

第2条 本部会は、次の目的にその事業を行う。

- (1) 士会の活動に女性としての視点を加えていくことにより、士会活動のより普遍化をはかる。
- (2) 女性建築士の活動に対する社会一般の認識をたかめる。
- (3) 女性建築士のかかえる問題点について共通の理解をもち、地位の向上をはかる。
- (4) 連帯と親睦をはかり、研鑽を深める。
- (5) 社会に寄与する活動を行う。
- (6) 士会における活動を通じて未加入女性建築士の加入を促進する。
- (7) その他、本部会の目的を達成するために必要な事業。

(事務局)

第3条 本部会の事務局を士会内に置く。

第2章 役員

(役員)

第4条 本部会には、次の役員を置く。

部会長 1名、副部会長若干名及び運営委員若干名。(い)

(役員の見出し)

第5条 部会長、副部会長及び運営委員候補は、定例会で選出する。(い)

(役員職務権限)

第6条 部会長は部会を代表し、部会を運営する。

- 2 副部会長は、部会長を補佐し、部会長の欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 役員は、役員会を構成し、本部会事業の執行をはかる。(い)

(役員任期)

第7条 役員任期は、2年とする。ただし、留任はさまたげない。

(役員会)

第8条 役員会は、必要に応じ随時開催する。

第3章 定例会

(定例会)

第9条 定例会は、士会女性会員により構成し、年1回以上開催するものとする。

- 2 定例会において部会事業についての総意をはかる。(い)
- 2 定例会は、女性部会員の10分の4以上の出席をもって成立するものとする。ただし、委任状をもって出席にかえることができる。

(相談役)

第10条 本部会には、相談役若干名を委嘱することができる。(ろ)

第4章 資産及び会計

(経費)

第11条 本部会の経費は、士会事業費その他により支弁する。

- 2 事業の内容によっては、別途にその収支予算を組むことができる。

(会計年度)

第12条 本部会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、役員会において議決し、士会理事会の承認を受けなければならない。

附則

- 1 この規約は、昭和58年5月21日から施行する。
- 2 この規約は、平成元年5月13日から施行する。(い)
- 3 この規約は、平成8年1月27日から施行する。(ろ)

◆ 編集後記 ◆

*大したことはしていないのに、いつも締め切り前はバタバタと…。今年度こそは少し優雅に活動したいものです。目指せSOHO有閑マダム！（ん、矛盾してる？）、でもマダムへの道は遠く険しい…。(尾)

*女性部会の長い歴史を拝見しながら、先輩方の熱意をひしひしと感じました。微力ではありますが、これからも女性委員会が常に先進的、精力的な活動を続け、それをドンドン発信させていくお手伝いができればと思っています。(上)

*10年前とは比べ物にならない忙しさの中、20周年の数々の行事をきめ細かくていねいにこなしてゆくパワーに頼もしさを感じたこの1年。でもその背景には、常に一歩先を見た活動の積み重ねがあることを再確認。女性の視点は社会を変える。さて次は・・・？(鈴)

編集協力者

尾瀬くみ、栗林郁子、上月真弓、後藤美香、澤木久美子
鈴木洋子、垂水百合子、橋本育子、平内節子、正木恵子
横山雪絵、吉川久似子

表紙デザイン 森垣実紀

女性部会 20周年記念誌—記念事業と10年の歩み—

●発行日 平成 15 年 4 月 30 日

●発行 (社) 兵庫県建築士会 女性部会

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通 4-3-8 神戸総合速記ビル 3 階

TEL 078-327-0885 FAX 078-327-0887

<http://homepage2.nifty.com/hyoukenjo/index.html>

●編集 女性部会 20 周年記念誌編集担当

●印刷 旭興産株式会社